



再開発事業停止が
発表された取手駅西口「A街区再開発」予定地

取手駅西口開発

「A街区再開発事業」は
停止・暗礁に

取手市は、3月議会に先立ち、2月14日に開催された議員全員協議会において「A街区再開発事業」の停止を発表しました。一部地権者の準備組合からの脱退が事業停止を決定的にしました。資材の高騰など経済変動と、地権者の同意に至らないことが事業停止の最大の要因とみられます。市のトップダウンの「図書館等複合公共施設整備」計画に市民の批判は強く、地権者の合意も得られませんでした。

街づくりは、地権者はもとより市民の納得と同意がなければ成功しないという重要な教訓とすべきでしょう。

取手駅西口開発を

考える

3.22 市民集会

どうする

駅前開発

これまでと今、
そしてこれから

とき : **3月22日(土)**

午前10:00~12:00

ところ : **取手福祉会館
3階講座室 A**

どなたもお気軽にお出かけください。
(資料代200円ご協力下さい)

駅前交通広場完成と「A街区再開発事業」予定区域(約6000㎡)の再造成により、総事業費約220億円を投じた6万5千㎡の西口区画整理事業が完了しました。その後のA街区には、マンション・公共施設・商店・駐車場などの「再開発ビル」を予定し、2013年以降「再開発準備組合」が設立され、取手市の準備が進められてきました。

集会は、この間の経過と現状・問題点など皆さんと共有し、自由に知恵を出し合い、より良い駅前づくりをめざそうと計画しました。

「取手駅前開発を考える会」は、市の取手駅前「A街区再開発事業と図書館等複合公共施設整備計画」の方針発表(2024年3月15日広報とりで)直後に、その方針を問題と考える市民が集まって発足し、シンポジウムの開催、議会への請願署名、教育委員会請願や要請行動など活動をしてきました。



昨年開催された
「取手駅前開発とまちづくりシンポジウム」
2024年5月18日、福祉交流センター

